

# 浦城中学校便り

平成 25 年 3 月 16 日(土曜日)  
第 14 号 文責：校長 牧野 直樹

## 6名のみなさん、ご卒業おめでとう！

2 月、3 月と時間が矢のように過ぎていき、気がつけば卒業式の日になってしまいました。

日高暁仁君、有満美憂さん、稲田沙理菜さん、稲田美紅さん、稲田瑞生さん、山部恵利奈さん、卒業おめでとう。こんなに早く卒業が来るとは思いませんでした。

少ない人数の中で家族や地域に見守られて無事に卒業することができました。今日で義務教育は終わりになります。これからは自分の意志で目標に向かって地道に努力をしていてください。困ったことがあったらいつでも学校に顔を見せてください。先生たちはいつまでもあなた達の応援団です。

## 一週間の出来事

先週の金曜日には「送別遠足」を実施しました。海水浴場までの道すがら空き缶や空き瓶、その他のごみなどを皆で拾いながら行きましたが、「シラセ」さんまで辿り着くのに 30 分かかり、予定時間を 20 分超過してしまいました。現地では原始時代の火起こしにチャレンジしましたが煙止まりで火は起こせませんでした。その後飯

盒炊飯、ドッチボールをして、現地のごみ拾い、そしてまた「シラセ」さんまでごみ拾いをして



帰りました。しっかりと「ボランティア遠足」をしました。それにしてもゴミが多すぎます。

特に、一番たくさん落ちていたのは右のジュースの缶です。「シラセ」さんの近くに 50 個以上落ちていました。子供たちもあまりの多さにあきれていました。大人として恥ずかしいですね。



水曜日には 3 年生対象に性教育（「HIV・性感染症の予防」～あなたはどうか生きていきますか～）を担当の舟津先生と養護教諭の三明先生で授業をしていただきました。人間が動物である以上「性」という問題は避けて通ることはできません。最近宮崎県内の高校生や大学生の間でも性感染症の広がりが伝えられています。しっかりとした知識と判断力を身に付け、「性」を自分の生き方の基本としてとらえることが大切だと思います。生徒たちが幸せな人生を送ってくれることを祈っています。

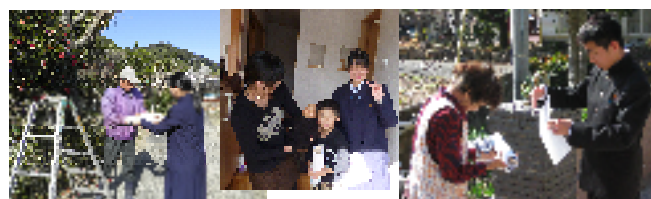
また、水曜日は最後の全校集会で、3・11の東日本大震災の報道や北海道の猛吹雪の時の悲劇などをもとに、校長として、家族の愛（とりわけ父親の愛）や人の命について話をしました。最後に「さだまさしさん」の「いのちの理由」という歌を歌いました。浦城のお父さん方は PTA 活動にも積極的で、とても子供を愛しているということが伝わってきます。子供たちもお父さんに少し優しくなれるかもしれません。



水曜日には、職員も交じってソフトボールも楽しみました。今までにすることがない生徒が多かったようですが、なかなか楽しそうに一生懸命プレーしていました。おかげで筋肉痛になりました。



## 浦城・安井区「版画カレンダー」配布完了！



先月の 28 日（木）の午後、浦城区の各戸に生徒と職員が組になって版画カレンダーを配布しました。安井区に



は 3 月 2 日（土）に磯谷実穂さん、健一君、正美君（友情出演）と職員で配布しました。お留守のところもありましたが、皆さんから感謝の言葉をいただいて、生徒たちもみんな満足感でいっぱいのようなようでした。「自分がだれかの役に立っている」「誰かが喜んでくれている」と感じることで、「自己肯定感」や「自己有用感」が高まり、積極性や社会性、郷土愛などにつながることでしょう。

～速報～ 南島原市「セミナリヨ版画展」  
学校賞を受賞しました。（3 年連続入選）